



## 農協「改革」と

### 市内農業等に及ぼす影響

日本共産党  
土田 政己

**問** 今、政府が進めようとしている農協「改革」の主な内容と今後、この「改革」が推進された場合、市内農業や地域住民へ及ぼす影響について伺います。

**答** 農協改革の主な内容は、全国中央会は平成31年3月31日までに、特別認可法人から一般社団法人に移行し、都道府県中央会は、特別認可法人から農業協同組合法上の「連合会」に移行します。

また、全国農業協同組合連合会（全農）及び経済農業協同組合連合会（経済連）は、その選択により株式会社に組織変更できます。

病院を設置する厚生農業協同組合連合会（厚生連）は、社会医療法人に組織変更ができます。

農協の監査については、農協に対する全国中央会監査の義務付けを廃止し、公認会計士による会計監査が義務付けられます。

単位農協については、理事の過半数を認定農業者や農産物販売のプロとすることを求めています。



新砂川農協

市内農業への影響ですが、生産現場からは、JAグループの自己改革が尊重されない農協改革であり、農協系統組織の持つ機能が損なわれ、地域農業の持続的発展に支障を来すおそれがあるとの声や、今回の農協改革が農業の成長や農業者の所得向上にどう結び付くのか理解できないとの声もあります。

仮にホクレン等が株式会社になった場合は、独占禁止法が適用となり、組合員が共同で営む購買・販売事業が困難になるなど、市内農業にも影響が出る可能性があるものと考えています。

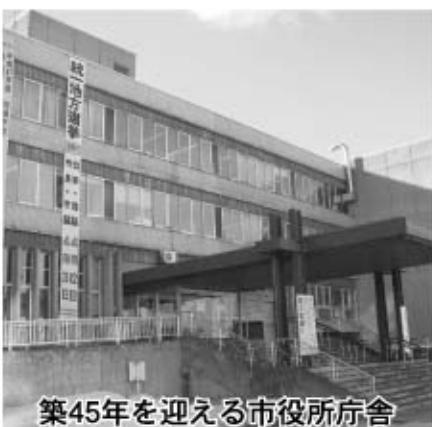
## 市役所庁舎の建替えについて

市民の声  
小黒 弘

**問** 平成25年8月から、窓口の各種手続き、福祉の相談などを同じ建物で出来るようにならないか、また、防災対策本部の設置や備蓄施設としても複合化できないか検討しているようですが、現時点で、どの程度まで検討されているのか伺います。

**答** 内部検討会はこれまで14回開催し、建設候補地、駐車場のスペースを含めて改築後の庁舎の敷地面積、建築面積及び延べ床面積、窓口の配置など、市民にとって利用しやすい庁舎となることを基本として、改築後の庁舎のイメージについて検討を続けています。

また、他の公共施設等と複合化した場合のメリット、デメリットについても検討していますし、内部検討会では改築する場合に想定されるスケジュールなども協議しており、検討結果について、できる限り早い段階で取りまとめたいと考えています。



築45年を迎える市役所庁舎

**砂川高校の出願者大幅減の要因について**

**問** 砂川高校の出願は定員160名に対し、出願者が91名と大幅に減少しましたが、その要因について、空知北学区全体の中学校卒業者が減少しています。また、奈井江町では、奈井江商業高校の入学生に通学費全額補助などの支援策を講じ、本市も含め相当数の生徒が出願し、今年度の卒業生は職業科を志願する生徒が増加しているのが主な要因と考えています。



### 3 一般質問・常任委員会の活動

## 市営塾の創設について

新風会  
多比良和伸

**問** 収入格差が学力格差につながると言われており、砂川の学力が全国平均よりも下回っている現状を踏まえ、無料で受けられる市営の塾が考えられないか伺います。

**答** 学習塾等が一般的な中で、経済的な影響で塾に行かせることが難しい家庭があることは認識しています。しかし、市営塾の実施を検討する段階には至っていません。

**問** 現状の取組みでは不十分なために全国平均を下回っているから、このままで良いとは言えません。地域の学力の底上げは地域力を高めることになります。退職された教育者にお手伝い頂くとか、地域をおこし協力隊制度を利用し先生を募集する等が考えられます。現状認識と対策を伺います。

**答** 今まで学力が高いとは言えませんが、充実させが必要があります。今後も小中学校において学校教育を充実させておきます。

**問** 住政政策の一つとして掲げられており、砂川の学力が全国平均よりも下回っている現状を踏まえ、無料で受けられる市営の塾が考えられないか伺います。

**答** 学習塾等が一般的な中で、経済的な影響で塾に行かせることが難しい家庭があることは認識しています。しかし、市営塾の実施を検討する段階には至っていません。

**問** 現状の取組みでは不十分なために全国平均を下回っているから、このままで良いとは言えません。地域の学力の底上げは地域力を高めることになります。退職された教育者にお手伝い頂くとか、地域をおこし協力隊制度を利用し先生を募集する等が考えられます。現状認識と対策を伺います。

**答** 今まで学力が高いとは言えませんが、充実させが必要があります。今後も小中学校において学校教育を充実させておきます。



豊後高田市  
「学びの21世紀塾」  
市営塾豊後高田市

り、今後の砂川市独自の特色としても期待が持てます。市で営むことが現存する塾への弊害になるのであれば、都市部ではすでに取組まれている所得に応じて塾へ通う家庭への補助なども良いと考えます。学力がすでに遅れをとつているにも関わらず、何も変わらないのであれば、ますます都市部との差が広がってしまいますので、教育長としての考えを伺います。

**答** 児童、生徒のことは学校が一番よく分かっているので、提案頂きましたが、まずは、今の取組みをしっかりと進めていきます。

## 常任委員会の活動

常任委員会は定例会が開かれる月(3月・6月・9月・12月)以外に、毎月開催されます。今回は1月・2月の常任委員会質疑をとりあげています。

### 総務文教委員会の質疑【平成27年1月・2月開催】

#### 【行財政等について】

- ★地方創生の補佐役について
- ★入札制度等に関する変更について
- ★自主防災組織の結成について
- ★砂川SAスマートインター・エンジ勉強会の開催について

#### 【教育行政について】

- ★「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の概要について
- ★市内小中学校の統廃合の手引書について
- ★平成27年度公立高等学校入試出願状況について
- ★各学校における残食について
- ★児童の糖尿病の罹患状況について

#### 【市立病院事業について】

- ★医師の異動について
- ★経営収支状況について
- ★待ち時間対応について
- ★診療情報室について
- ★研修管理委員会のアンケートについて
- ★ドクターカーの利用実績について
- ★病院認定の機能評価について
- ★看護師等の募集方法について
- ★地域包括ケア病棟のリハビリスタッフの不足について
- ★砂川市立病院のホームページについて
- ★公立病院改革ガイドライン策定について